



平成 26 年 10 月 10 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ  
代 表 取 締 役 社 長 狩 野 仁 志  
( J A S D A Q ・ コ ー ド 3 8 0 7 )  
問 い 合 わ せ 先 :  
取 締 役 管 理 本 部 長 松 崎 祐 之  
電 話 番 号 0 3 ( 5 7 7 4 ) 2 4 4 0 ( 代 表 )

### 子会社における業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社ネクスは、平成 26 年 2 月 14 日に公表いたしました平成 26 年 11 月期の業績予想を、別添のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、当該業績予想の修正に伴い、当社の通期の連結業績につきましても、修正いたしました。本日公表しております「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上

平成 26 年 10 月 10 日

各 位

|           |                 |                   |
|-----------|-----------------|-------------------|
| 会 社 名     | 株 式 会 社         | ネ ク ス             |
| 代 表 者 名   | 代 表 取 締 役 社 長   | 秋 山 司             |
|           |                 | (JASDAQ・コード 6634) |
| 問 合 せ 先   | 代 表 取 締 役 副 社 長 | 石 原 直 樹           |
| 役 職 ・ 氏 名 |                 | 03-5766-9870      |
| 電 話       |                 |                   |

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 2 月 14 日に公表いたしました平成 26 年 11 月期（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日）の通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

平成 26 年 11 月期通期連結業績予想の数値の修正（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日）  
（単位：百万円）

|                               | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------------|--------|-------|-------|-------|-----------------|
| 前回発表予想 (A)                    | 8,960  | 753   | 770   | 620   | 53 円 34 銭       |
| 今回修正予想 (B)                    | 6,473  | 126   | 366   | 294   | 25 円 35 銭       |
| 増減額 (B-A)                     | △2,487 | △627  | △404  | △326  |                 |
| 増減率 (%)                       | △27.7  | △83.2 | △52.4 | △52.5 |                 |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 25 年 11 月期) | 4,948  | 259   | 487   | 430   | 39 円 79 銭       |

注 1) 当社の子会社である株式会社ネクス・ソリューションズが、平成 26 年 1 月 31 日付で株式会社 S J I の営む中部事業部、関西事業部及び九州事業部におけるシステム開発事業に関して有する権利義務を承継する吸収分割の影響（平成 26 年 1 月 31 日から平成 26 年 11 月 30 日までの 10 ケ月）を反映した業績予想数値になります。

注 2) 上記業績予想数値はみずほ銀行公表の平成 26 年 10 月 10 日の公示為替レート仲値（107.78 円/ドル）を前提としております。

#### ○修正の理由

当社単体のデバイス事業において、既存製品のうちの 1 機種の上売が減少いたしました。当期において、顧客からの更なる価格低下の要求がありましたが、当該製品は、長期間の導入実績がある製品であるものの、粗利率が 10%以下と低く、また当該製品が近々製品ライフサイクルの終焉を迎える製品であること、さらに一定期間の製品提供責任を負うなかでの為替変動による原価高騰のリスクがあることなどを鑑み、粗利率の低い当該製品の今期販売予定を取りやめたものです。

また、今期販売を開始した他の新製品と受託開発製品において、顧客からの要望による仕様変更等による開発期間延長に伴い、販売開始タイミングが当該第1四半期から第2四半期以降にずれ込みました。その結果、製品の大半については当初予定どおりの売上が計上できますが、一部の製品については、売上の一部が来期にずれ込むことが今般判明したものです。

営業利益につきましては、昨今の為替の影響を受け原価が高騰したことと、利益率も高く今期の収益の要となっていた当該新製品の売上が来期にずれ込んだことにより、予想を大きく下回る見込みです。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な資料を基に作成したものであり、実際の業績は、今般の売上減少に伴う、更なる仕入原価削減、役員報酬カット、販売管理費削減及び決算期末時点のドル・円為替相場により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上